

# 第104回南部杜氏自醸清酒鑑評会において 県内2酒蔵が本県史上初の快挙を収めたことを知事に報告

吟醸酒の部及び純米酒の部の両部門において、計596点中上位3位以内に2蔵が選出

「霧筑波」(合資会社浦里酒造店) / 「富士大観」(森島酒造株式会社)

2023年6月9日(金曜日)、つくば市の合資会社浦里酒造店 代表社員浦里浩司(うらざと こうじ)さんら4名が県庁を訪れ、吟醸酒の部及び純米酒の部において、上位3位以内に県内2酒蔵が選出される本県史上初となる快挙を収めたことを知事に報告しました。

訪れたのはほかに、合資会社浦里酒造店 専務兼蔵元杜氏の浦里知可良(うらざと ちから)さん、日立市の森島酒造株式会社 代表取締役の森嶋鎮一郎(もりしま しんいちろう)さん、専務兼蔵元杜氏の森嶋正一郎(もりしま しょういちろう)さん。

南部杜氏自醸清酒鑑評会は、1911年(明治44年)から岩手県花巻市で開催されている歴史と伝統のある清酒鑑評会です(主催:一般社団法人南部杜氏協会)。

今回の鑑評会では、計25道府県の138の酒蔵から、吟醸の部283点、純米酒の部313点の計596点が出品され、4月4日から7日にかけて審査が行われました。

その結果、**吟醸酒の部で、森島酒造が1位、浦里酒造店が3位に入賞し、純米酒の部で、浦里酒造店が2位、森島酒造が3位に入賞しました。**



浦里浩司さんは、「業界では若い経営者や従業員も頑張っています。引き続き新酒開発など県の協力をいただきながらもっともっと頑張っていきたいと思っています。」と、本県の酒蔵の意欲を知事にアピールしました。

大井川知事も、「今回の両蔵の受賞、誠におめでとうございます。引き続き、茨城の地酒が盛り上がるよう、県においても、酒造りを始めPRや輸出の支援など、皆様とともに頑張っていきます。」と激励しました。



(左から) 合資会社浦里酒造店 代表社員 浦里浩司さん、同社専務兼蔵元杜氏浦里知可良さん、大井川茨城県知事、森島酒造株式会社 専務兼蔵元杜氏の森嶋正一郎さん、同社代表取締役 森嶋鎮一郎さん

■ 本件に関する報道関係者の方々からのお問合せ先

茨城県産業戦略部技術革新課 地域産業振興室 担当: 石崎、川又

TEL 029-301-3585

FAX 029-301-3599

E-mail: shinkou@pref.ibaraki.lg.jp